

## 第3学年 道徳科学習指導案

日時：平成30年10月24日（水）5校時

場所：第3学年教室

指導者：T1 教諭 佐藤 由那

T2 養護教諭 大場 亜珠

1 主題名 自信をもって正しいことを A－（1）善悪の判断，自律，自由と責任

### 2 主題について

#### （1）ねらいとする価値について

本主題は、小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編によると、A「主として自分自身に関する事」の「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと」と関連が深い内容項目である。

よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じる場所に従って、誠実かつ謙虚に行動することは、人として重要なことである。しかし、日常生活において、正しいと知りつつもなかなか実行できなかつたり、悪いことと知りながらも周りの雰囲気にならされてしまつたりすることで、正しい判断ができなくなる場面も考えられる。

人から進められてもきっぱりと断る勇気をもつたり、正しくないことをしようとする人を止めたりするといった、行動力が求められる。自信をもって行動する心構えを身に付けさせることが必要だと考え、本主題を設定した。

#### （2）児童について

本学級は、男子5名、女子3名、計8名の学級である。本時の授業にあたって関連する意識調査の結果は、以下の通りである。

（7月13日実施 男子5名 女子3名 計8名 質問紙法）

A（だいたい身に付いている） B（どちらかといえば身に付いている） C（あまり身に付いていない） D（不足しているので今後身に付けたい）	A	B	C	D
よく考えて行動し、あやまちはずなおに認める。	3	3	0	2
正しいと思うことは勇気をもって行う。	3	2	2	1
自分の悪いところは直し、良いところは積極的に伸ばそうとする。	3	4	1	0

意識調査の結果から、自分の悪い所を直し、よいところを伸ばそうとする意欲をもつ一方、過ちを素直に認めることが苦手な児童が2名見られる。また、勇気をもって正しいことを行うことが苦手な児童が3名見られる。

学校生活では、ルールを守らない友達に対して注意する児童の姿が見られるが、注意された側は友達の言葉を受け入れられず、自分のあやまちを認めないことがある。また、友達の誘いに乗って室内を走つたり、休み時間が終わってもなかなか遊びを止められなかつたりする様子もうかがえる。

道徳や朝の時間で行っている対話では、教材や身の回りの出来事をもとに自分たちで課題を考えることができる。また、友達の考えを聞くことで自分の考え方を見直したり、新たな疑問をも

ち質問したりする児童の姿も見られるようになった。その一方で、積極的に発言する児童と控えめな児童に分かれ、発言回数に差が見られる。また、対話中に話の論点がずれることがあり、教師による対話の軌道修正が必要である。

### (3) 教材について

① 教材名 「SL公園で」 出典：「新しい道徳3」 東京書籍

② 価値 A- (1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任

③ 教材について

気の合う仲間で、SL機関車が置いてある公園で遊んだときの話である。一人が自慢げに言った「SLの上にのぼったことがある人いる？」という言葉を引きかけに、みんなが登り始める。しかし、主人公のしんごはいけないことだと思い、「ゆうきがないの？」と言われても登らない。そこへ小さな子を連れた女の人に来て、上に登った子に注意をした。女の人が来たことでほっとしたしんごだったが、女の人に言われた言葉が、帰り道、しんごの心に残っていた。

SLに登ってはいけないと自分は分かっているにもかかわらず、注意できなかったしんご。勝手な解釈をしてSLに登ったつよし。つよしの言葉に誘われて登ってしまった他の友達がいるように、立場によって善悪の判断と行動の様子に違いが見られる。自分がいけないことに加わらないだけでなく、自信をもって行動に移すことの大切さを考えることができる教材である。

④ 教材分析 (別紙)

### (4) 指導にあたって

正しいことを行えないときの後ろめたさや、自ら信じることに従って正しいことを行った時の充実した気持ちを考え、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないと判断したことは行わないようにする態度を育てたい。そこで、心情スケールを用いて「自分がしんごならどうするか」を考えさせ、立場を明確にした後、帰り道のしんごの気持ちに迫る。反応に応じた問い返しによって、「自信をもって行うこと」について考えさせたい。

対話の中で多様な考えを引き出したり、友達の考えを基に自分の考えを深めさせたりするために、TT指導を行う。「正しいと思ったことを、自信をもって行うこと」について、T2の体験談を話したり経験をもとにした問い返しをしたりすることによって、対話の内容を深めさせ、本時のねらいに迫りたい。

### (5) 研究の視点

【視点1】道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、考えを深める授業展開の工夫

①自他との対話を促す支援の工夫

a 事前読みと課題設定

- ・家庭学習で教材を読み、「あすなるノート」に感想を書かせることによって、教材への関心をもたせ、主体的に課題設定ができるようにする。
- ・「なぜ～」で始まる一文で考えさせることによって、教材を読んで疑問に思ったことを課題として書くことができるようにする。

- b 対話中のツールキットの活用と問い返し
    - ・「なぜなら～」のツールキットを活用することによって、自分の立場を明確にし、考えの根拠を明らかにして発表できるようにする。
    - ・予想される反応に対して、問い返しを予め教師が何パターンか準備することによって、価値理解、人間理解、他者理解、自己理解がより深まる対話を進められるようにする。
  - c 心情スケールを用いた意思表示
    - ・ネームカードを使って集団の中の自分の立場を可視化させることによって、友達の考えとの違いを理解させ、多面的・多角的な見方につなげるようにする。
  - d T2の説話
    - ・T2の考えを聞いたり価値に迫った体験談を基に話し合いをさせたりすることによって、価値の理解を深めることができるようにする。
- ② 「あすなるノート」の活用
- ・授業の最後に対話を振り返り、本時の授業で考えたことを「あすなるノート」に書かせることによって、自己内対話をさせ、考えたことを日常生活に生かせるようにする。

#### (6) 宮城県学力向上に向けた5つの提言との関連

本主題では「学力向上に向けた5つの提言」を踏まえて、次のような学習活動を設定する。

提言3, 4を踏まえ、授業のまとめの段階で振り返りの時間を設定し、自分の考えをノートに書かせる。

提言5を踏まえ事前に家庭学習で教材を読ませ感想と本時で話し合いたい課題を考えさせる。

### 4 本時の学習

#### (1) ねらい

対話を通して、正しいと判断したことを、自信をもって行うために必要な心構えを考える。

#### (2) 準備物

- ① 教師 : 掲示用挿絵, ツールキット, コミュニティボール, ネームカード, 心情スケール  
ホワイトボード, スケッチブック
- ② 児童 : 教科書, 筆記用具, 「あすなるノート」

#### (3) 学習過程

段階	学習活動 (◎中心発問 ○発問 ・児童の反応)	・指導上の留意点 ◇評価(方法) ※研究の視点 【5つの提言】
事前	<p><b>【家庭学習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材を読み、感想と自分で考えた課題を「あすなるノート」に記入する。</li> </ul> <p><b>【朝の活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで話し合いたい課題を考え、全員で選ぶ。</li> <li>・選んだ課題に対する自分の考えを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習で教材を読み、「あすなるノート」に感想を書かせることによって教材への関心をもたせ、主体的に課題設定できるようにする。 ※①a</li> <li>・「なぜ～」で始まる一文で考えさせることで、教材を読んで疑問に思ったことを課題として書かせる。 ※①a</li> </ul>

<p>本時 導入 5分</p>	<p>1 教材の内容を確認する。 ・教師の範読を聞く。</p>	<p>・教材文の流れが分かるよう、挿絵やせりふを提示する。</p>
<p>展開 30分</p>	<p>2 教材をもとに、児童が選んだ課題について対話する。</p> <div data-bbox="368 409 1321 479" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○（例）なぜ、しんごは登ってはだめと言えなかったのだろうか。</p> </div> <p>【予想される課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、しんごは女の人に来てほっとしたのだろうか。</li> </ul> <div data-bbox="368 656 1098 725" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○自分がしんごだったら、注意できますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる。なぜなら、だめなことはだめと言わないといけないから。</li> <li>・できる。なぜなら、言わないと自分も友達も怒られるから。</li> <li>・できない。</li> <li>・できない。なぜなら、言ったら友達から言い返されそうだから。</li> </ul> <div data-bbox="368 1126 1129 1196" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎帰り道、しんごはどんなことを考えていただろうか。</p> </div> <p>【反応A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなに「やめなよ」と言えばよかった。</li> <li>・もっと勇気を出して、言えばよかった。</li> </ul> <p>【反応B】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次はしっかり言うぞ。</li> </ul> <p>【反応C】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしてあの時言えなかったのだろう。</li> </ul>	<p>・課題に対するしんごについて、自分はどう思うかをネームカードで意思表示させ、友達の考えとの違いを理解させる。※①d</p> <p>・「なぜなら～」のツールキットを活用することによって、自分の立場を明確にし、考えの根拠を明らかにして発表できるようにする。 ※①b</p> <p>・予想される反応に対して、問い返しを予め教師が何パターンか準備することによって、価値理解、人間理解、他者理解、自己理解がより深まる対話を進められるようにする。 ※①b</p> <p>【反応Aの問い返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな楽しそうにしているけれど、それでも言えますか。</li> <li>・言ったら、みんなに嫌われるかもしれないよ。</li> </ul> <p>【反応Bの問い返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうすれば、次は言えるかな。</li> </ul> <p>【反応Cの問い返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪い事だと分かっていたら、あの時言えたはずだね。</li> </ul>

	他者理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしてみんな止めなかったのだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">○自分が正しいと考えたことを実行するには、どんなことが大切だろうか。</div> <p>T 2 : 友達と遊んでいた時、帰る時間になっても誰も遊びをやめなかった。自分はすぐ帰った方がいいと思ったが、「もう帰るね。」の一言がなかなか言えず、帰る時間を守れなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分だったら、だめだと思ったことは勇気を出して注意する。</li> <li>・ 自分も、先生の話と似ている出来事がある、その時は言えなかったけど、注意しないといけないと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ T 2 が児童の考えをホワイトボードに書き出し円座の中心に提示することで、児童が友達の考えを基に思考を深められるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T 2 の体験談を基に、正しいことと分かっていても行動できなかった場面で自分ならどうするかを考えさせる。 ※①c</li> </ul>
まとめ 10分	自己理解	<p>3 自分が考える「正しいと思ったことを、自信をもってするために必要なこと」をノートにまとめ、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対話を振り返り、本時の授業を通して考えたことを書かせることによって、自己内対話させ、自分自身の姿を見つめ自己理解を深められるようにする。 ※②【提言】</li> <li>・ 数名の児童を意図的に指名し、書いた内容を発表させることによって、考えの共有を図る。</li> </ul> <p>◇対話を通して、正しいと判断したことを、自信をもって行うために必要な心構えを考えていたか。 (発言・ノート)</p>

#### (4) 評価

- 対話を通して、正しいと判断したことを、自信をもって行うために必要な心構えを考えていたか。 (発言・ノート)

(5) 板書計画

S L 公園で

挿絵                      挿絵                      挿絵

○                      |                      |                      |                      ○  
言える                      言えない

・つよし  
「SLに登ったことある人いる？」  
「今からのぼってみせてやるよ。」

・しんごは「やめなよ。」と言いた  
かったけれど、言えなかった。  
「さくがあるんだから、のぼる  
のは…。」

・女の人  
「なにやってるの、だめでしょ。  
すぐおきなさい。」  
「あなたはのぼらなかったのね。  
えらなかったわ。でも、みんなを  
とめられたらよかったのにね。」

挿絵

帰り道、しんごはどんなことを考えて  
いただろうか。